

保証書

フリガナ	
お名前	様
ご住所	〒 -
電話	- -
車種	
年式	
品名・カラー	数量
品番・サイズ	
品名・カラー	数量
品番・サイズ	
発行日 お買い上げ日	年 月 日

	区分	保証期間	対象品
保証期間	一般保証	購入日に登録頂いてから2年間。	ホイール本体。ホイールを構成する限定保証対象部品を除く。
	限定保証	購入日に登録頂いてから1年間。	バルブ、センターカバー、センターキャップ、銘板。ホイール本体及び付属品の外装の塗装、メタルコート、ポリッシュ等。錆・腐食。

販売店・住所・電話番号



オーゼットジャパン株式会社

〒430-0807 静岡県浜松市中区佐藤2-35-20
www.oz-japan.com

アルミホイール取扱説明書・保証書

※アルミホイールを正しくご使用いただくお客様及び販売店様へ

この度は、当社製品をご購入頂き、誠にありがとうございます。アルミホイールをお取り付け、ご使用になる前に、こちらの取扱説明書を必ずお読みになり、必要な時にすぐ取り出して見られる様、保管してください。本製品は、軽合金ホイールの技術基準JWL(注1)に適合し、さらに自動車用軽合金製ホイール試験協議会の厳格な品質、強度再確認試験VIA(注2)、そしてヨーロッパの代表的な強度規格TUVに適合しておりますが、安全のために取扱の内容を守ってご使用くださいますようお願い申し上げます。

アルミホイールをご使用いただくお客様へ

お取付け・ご使用前に必ず取扱説明書をお読みいただき、注意事項を守って正しく安全にご使用ください。また、取扱説明書は必要な時にいつでも取り出せる場所に保管してください。

販売店様へ

装着する前にお読みになり、お客様へご説明の上、必ず本書をお渡しください。また、お客様にお買い上げ頂きましたアルミホイールは、必ず添付の本保証書商品登録の欄にご記入頂き、販売店名・住所・電話番号の欄にご記入ご捺印の上、本書をお客様にお渡しください。

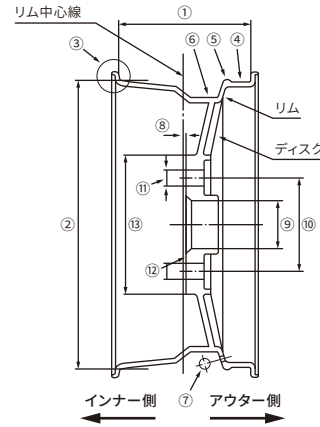


オーゼットジャパン株式会社

〒430-0807 静岡県浜松市中区佐藤2-35-20
TEL:053-469-5011 FAX:053-469-5012

ホイールの各部の名称

番号	各部の名称	番号	各部の名称
①	リム幅	⑧	インセット
②	リム径	⑨	ハブ穴直径
③	フランジ	⑩	P.C.D.(ボルト穴ピッチ円直径)
④	ビードシート	⑪	取付ボルト穴直径
⑤	ハンブ	⑫	ディスク取付面
⑥	ウエル	⑬	取付部直径
⑦	バルブ穴		



ホイールの選定

- ホイールのサイズ・インセット(オフセット)・取付穴数・PCD(ボルト穴ピッチ円直径)・取付面形状などが、装着する車に適合する事を確認してください。これらが不適合ですと車に装着出来ません。



警告

車軸ごとに同じサイズ・同じ品種のホイールを装着してください。異なったホイールを混用すると操縦性・安定性が失われる場合があります。



注意

ホイールとタイヤのサイズが適合しない場合、タイヤやホイールが損傷する場合があります。

バルブの装着・タイヤの組付け

- クランプイン(ナット締め)タイプのバルブのナットは、メーカーの指定トルクで締め付けてください。
- タイヤ交換時には、バルブも新品の専用バルブに交換して下さい。古いバルブをそのまま使用すると、パッキン等のゴムの劣化で空気が漏れる事があります。



注意

バルブは付属の専用バルブをご使用ください。別のバルブを使用すると寸法・形状が合わず空気が漏れる事があります。

- アルミホイールには、タイヤを表リム面から組むものと裏リムから組むものがありますので、それぞれのリム形状にあったリム組を行ってください。
- リム組みの際には、必ず潤滑剤を使用してください。
- 使用空気圧の充てんは、ビードがリムのシート周上に均等にのっている事を確認した上で行ってください。



警告

タイヤの組付けの為の空気の充填は、安全圏の中に入れるなどの安全措置を行った上で、空気圧300kPa(3.0kgf/cm²)以下で実施してください。



注意

リム組み後、水槽・石鹸水などでタイヤとリムの合わせ目・バルブ等より空気漏れが無い事を確認してください。バルブの空気漏れの確認は、バルブとホイールの合わせ目・バルブ口を確認してください。



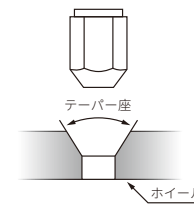
注意

ホイールバランスは、必ず全輪を調整してください。バランスが狂っていると、異常な振動や操縦性・安定性の低下を起こす事があります。

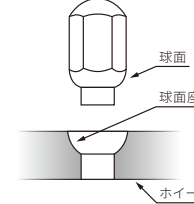
ホイールの車体への装着

- ホイールの取り付けナット・ボルトの座面には、60°テーパ座・球面座・平面座などがあります。それぞれ形状にあったボルト(ナット)をご使用ください。
- ホイールによって、付属の小径のボルト or ナットを使用する場合があります。
- ホイールによって、スライドボルトを使用する場合があります(PCD:100→98, 108→110, 112→110)。

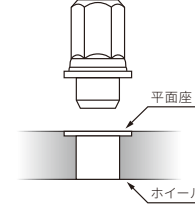
テーパ座(60°テーパ)



球面座



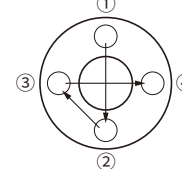
平面座



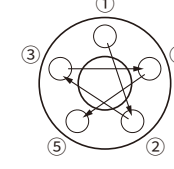
- 車両側のハブボルト or ボルト穴と、ナット or ボルトの径・ネジピッチ・長さが合っている事を必ず確認してください。
- アルミホイールを装着の際は、常にスペアホイール取付用ナット or ボルトを携帯してください。
- 純正スペアホイールをご使用の際には、純正スペアホイール用ナット or ボルトをご使用ください。
- 取付ナット or ボルトの締め付け順序は、図のように仮締めを行い、推奨トルクで均等に締め付けてください。(車両の推奨トルクがある場合は、そちらの数値に従ってください。)
(例) 60°テーパの場合、M10=50~70N・m(5~7kgf・m)、M12=90~120N・m(9~12kgf・m)、M14=160~180N・m(16~18kgf・m)

【締め付け手順】

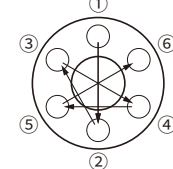
【4穴】



【5穴】



【6穴】



- 取付ナット or ボルトの締め付けには、必ずトルクレンチをご使用ください。
- 車両に装着後はハンドルを左右いっぱいにして、車体との接触が無い事を確認してください。
- 車両に装着後はタイヤ・ホイールがフェンダーからはみ出していない事を必ず確認してください。車体からはみ出した装着法令で禁止されています。

⚠ 危険

取付ナット or ボルトは、必ずホイール指定のものを使用してください。指定外の部品を使用すると、十分な締め付けが出来なくなり、ホイールが外れる危険性があります。

⚠ 危険

走行中にホイールが外れる恐れがあります。アルミホイールの車体への装着の際、以下の事項を必ずお守りください。

- 車輻の取り付け面やハブボルトに、錆・汚れ・変形が無い事。
- 取り付けようとするホイールと車輻の取り付け面の干渉(車両取付面上のピン・ボルト・センターボス・ワッシャーとホイールの接触)が無い事。

⚠ 危険

取付ナット or ボルトは、締めすぎても締め付け不足でも、ホイール・ハブボルト等の変形やゆみを引き起こし、事故の原因になる事があります。トルクレンチを使用して、正しい締め付けトルクで締め付けてください。

⚠ 危険

取付ナット or ボルトの締め付けに、インパクトレンチを使用しないでください。

ホイール装着後の走行

- 取り付け後や、ローテーション(タイヤ装着位置の交換)をした後は、100km程度走行した後、推奨トルクで増し締めをしてください。
- 日常点検時に、取り付けナット or ボルトのゆれが無いか、必ず点検してください。

⚠ 危険

走行中に不安定な走行状態になったり、異常な振動・音などを感じた時は、すみやかに安全な場所に停車して取り付けナット or ボルトのゆれが無いかタイヤ・ホイール、車両に異常が無いか点検を行ってください。異常が認められた場合は、事故の原因となる場合がありますので、適切な交換・修理が終わるまで走行しないでください。

⚠ 危険

タイヤ・ホイールに変形や損傷を引き起こす事がありますので、道路の縁石との接触・乗り上げ・凸凹道の走行は避けてください。

⚠ 危険

急発進・急制動・急旋回は、タイヤ・ホイールを傷めるだけでなく、重大な事故の原因にもなりますので絶対に避けてください。

お手入れと保管

- ホイールの腐食を避ける為に、海辺や雪路・泥路などを走行した後は、十分に手洗いし、柔らかい布で水分を完全に拭き取ってください。
- 洗車機での洗浄は、ホイールを傷つける事があります。お手入れは手作業での洗浄をおすすめします。
- タイヤ・ホイールの保管は十分な洗浄の後、乾燥させ、直射日光・雨・水分・油類・高温多湿の場所を避けて保管してください。
- 保管の際は、タイヤの空気圧を使用時の1/2程度に下げてください。再度ご使用の際は、タイヤの空気圧の補充・点検・バランス調整を行い、タイヤ・ホイールに異常が無い事を確認してください。

その他の注意

⚠ 危険

組み立て式(2,3ピース)ホイールのリムとディスクの分解や組み立てボルトを緩めたり、増し締めは絶対にしないでください。走行中にホイールが分解したり、急激な空気漏れを起こし大事故の原因となる事があります。

⚠ 危険

ホイールの修理・加工は絶対にしないでください。不適切な加工・修理は、見た目には分からない強度低下を招き大変危険です。

⚠ 危険

「収れん火災」について

メッキ・スパッタリング等の鏡面仕上げのホイールにおいて、そのデザインに凹凸を持つ場合、太陽光などによる収れん(反射やガラス等による屈折で光が一点に集まる状態)を起こす可能性があり、それにより火災が発生する恐れがあります。この様な場合、光が集まった焦点部分は非常に高温になる為、焦点部分が焦げたり発熱から発火に至る恐れがあります。駐停車の際には、可燃物が無いか付近の状況を確認してください。

技術基準

- 本商品は、「軽金属製ディスクホイールの技術基準 JWLまたはJWL-T」に適合しており、「自動車用軽金属製ホイール試験協議会の強度試験VIA」、またドイツを中心にヨーロッパの強度基準になっているTUVに合格していますが、安全及び性能の維持の為に本書の内容を守ってお使いください。

【ホイール品質基準適合マークについて】



乗用車用軽合金ディスクホイールの技術基準

この基準は乗用車（乗用定員11人以上の自動車、二輪車及び側車付二輪自動車を除く）用軽合金ホイールに適用されている国土交通省の定める安全基準。この技術基準に定められた試験を製造者自らの責任において行い、適合したものについてはJWLのマークが表示される。



トラック及びバス用軽合金製ディスクホイールの技術基準

この基準はトラック・バス用軽合金ホイールに適用されている国土交通省の定める安全基準。この技術基準に定められた試験を製造者自らの責任において行い、適合したものについてはJWL-Tのマークが表示される。



品質検査合格マーク

JWL、JWL-T基準に定める適合商品であるか否かを第三者公的機関の「自動車用軽合金ホイール試験協議会」が確認するもので、JWL、JWL-T基準による厳格な品質・強度確認試験に合格したものについては、VIAマークの表示がされる。

保証に関する注意 ①

本保証書は、保証書に記載のアルミホイールを下記の保証期間及び条件に従って無料交換致します。尚、法令並びに当社が指定する日常の点検整備を実施しない事に起因する不具合は対象外となります。

保証内容(保証規定)

(1)保証範囲

お客様のアルミホイールに、法令及び取り扱い説明書に従って正常な使用状態で不具合が発生した場合、本保証書に示す保証期間と条件に従って無料交換を致します。(以下、保証対応と言います。)

(2)保証期間

保証期間は、次の通りと致します。

	区分	保証期間	対象品
保証期間	一般保証	購入日に登録頂いてから2年間。	ホイール本体。ホイールを構成する限定保証対象部品を除く。
	限定保証	購入日に登録頂いてから1年間。	バルブ、センターカバー、センターキャップ、銘板。ホイール本体及び付属品の外装の塗装、メタルコート、ポリッシュ等。錆・腐食。

保証対応の受付

保証対応をご希望の際は、購入店にお問い合わせ頂き、本保証書をご提示の上、販売店にお申し付けください。保証書のご提示が無い場合や、内容に販売店の情報・ご購入された日付が明記されていない場合は、保証対象外となります。

保証の適用

この保証書は、日本国内で販売されているホイールのみにも適用します。本書に明示した保証期間・条件のもとに無料交換するものです。従って保証期間経過後に発生した不具合に関しては、原則として対象外となります。

保証に関する注意 ②

保証を適用しない事項

(1)次に示す現象、不具合については、保証致しません。

- 使用損耗或いは経年劣化により発生する現象。(塗装表面・メタルコート表面・ポリッシュ表面・樹脂部品などの自然退色等)
- 走行機能に影響がない、単なる感覚的現象。(ホイールバランス調整ミスによる振動、一般的に操作フィーリングとされているもの)
- 通常の注意で見発見処置出来たにも関わらず、放置したことにより拡大した不具合。

(2)次に示すものに起因する不具合は、保証対応致しません。

- 取り扱い説明書に記載されている注意条項が守れなかったことによる不具合。
- 法令或いは、当社が認めていない改造による不具合。(認めていない修理業者による修理、追加工、追塗装等)
- 法令で認められていない改造車両への装着による不具合。
- 通常保守点検あるいは、整備の問題による不具合。
- 装着される車両への不適当なホイール(サイズ等)装着による不具合。
- 使用するホイールの法令に定まっている以外のサイズの合わないタイヤ装着による不具合。
- 当社が指定した取り付けナット、ボルト、ハブリング、スペーサー等の部品を使用しなかった為の不具合。
- 薬品、動物糞、オイル、石はね、鉄粉、酸性雨、塩害、凍結防止剤、洗剤等の外部要因による不具合。
- 地震、風水害などの天災、火災、事故による不具合。
- タイヤ、チューブの不良品の使用、タイヤ脱着時やバランス作業時の作業ミスによる不具合。
- 一般公道以外での走行、サーキット、ラリー、オフロード等の走行による不具合。
- 2年間で5万キロ以上の走行による不具合。
- 保証書の提示の無い場合や保証書の字句を修正した場合。